

## 競技注意事項

1. 2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告及び展示物に関する規程及び本大会申し合わせ事項を適用する。

小学生については TR5.2 を適用しない。

2. 競技場の入場について

- ①開門時刻は7時30分とする。
- ②競技者受付は、競技場内正面のエントランスホールとする。
- ③練習会場である補助競技場への入場は、参加競技者、チームの監督・コーチ、大会関係者のみとする。入場する際は、IDカードまたはリボンを携行すること。

3. 更衣について

グランプリ種目、一般種目、高校生種目出場の競技者の更衣室は、競技場内備え付き男女別の更衣室を利用すること。更衣室は更衣のみに使用し更衣した物は置かないこと。小学生・中学生については、各チームのテント等で更衣すること。貴重品は各自で責任をもって管理すること。

4. 練習について

<大会前日>

- ① グランプリ種目、一般種目出場者並びに高校生は 10:00~16:30 の間、本競技場を使用することができる。使用レーンは以下の通りとする。  
1レーン：使用禁止  
2~7レーン：スピード練習  
8~9レーン：ハードル練習（110mH/100mH）  
\*バックストレートでのスタート練習は禁止。  
使用レーンを間違えないように十分注意すること。
- ②男女走高跳は 11:00~16:00 の時間帯に A ゾーンで行うこと。
- ② 棒高跳はバックストレート側ピットで行うこと。  
11:30~13:30 (女子)、14:00~16:00 (男子)
- ③ 投擲種目は下記の時間帯にサークル又はやり投ピットで行うこと。  
11:00~13:30 (ハンマー投)、14:00~16:30 (男女やり投)
- ⑤小中学生は 10:00~16:00 の時間帯に補助競技場で行うこと。使用レーンは以下の通りとする。  
なお、練習時には必ず指導者又はチーム関係者が付くこととする。(事故のないように十分注意)  
1~2レーン：周回練習  
3~6レーン：リレー練習  
7~8レーン：スピード練習

<大会当日> \*フィールド種目のみ練習可能

- ①本競技場での競技開始前の練習は、グランプリ種目と一般種目参加選手のみとする。(7:30~8:30)  
ア、ハンマー投はサークル内でのスイングのみ認める。  
イ、やり投は助走のみとする。
- ②補助競技場開門時刻7時30分。使用可能時刻は17時00分までとする。  
\*小中学生の補助競技場の使用は 13:00までとする。それ以降は GP、一般、高校生種目参加選手専用とする。(リレーの練習は声を掛け合い、事故が無いように十分注意すること。)

5. 招集について

- ①アスリートビブス並びに腰ナンバーは配付されたものを使用すること。

②招集所は競技場第1ゲート外側に設ける。

③招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種目	招集開始（点呼開始）時刻	招集完了（移動開始）時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前	40分前
棒高跳	70分前	60分前

④招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。

⑤競技者は、招集開始時刻にアスリートピブス・スパイクシューズ、ロゴ等の点検を受けて、そのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。代理は認めない。

⑥小学生、中学生、高校生でリレー競技に出場するチームは、招集完了1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。（オーダー用紙は競技者係より受け取ること）

⑦欠場する競技者は欠場届を競技者係に事前に提出すること。（欠場届は巻末にあるものを使用すること）

⑧配布された腰ナンバーは左右両方にしっかりと貼り付けること。

## 6. 競技について

### <トラック競技>

① 男女100mは予選とA決勝・B決勝を実施する。男女200m、男子110mH、女子100mHはタイムレース決勝とする。

② 男女100mと男女200m、男110mH、女100mH並びに小中学生男女100mについては、風の条件によりバックストレートを使用することがある。競技開始時刻の1時間前に関係者で判断する。

### <フィールド競技>

③ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
男子 走高跳	任意の 高さ	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	以降3cm刻み		
女子 走高跳	任意の 高さ	1m66	1m71	1m74	1m77	1m80	以降3cm刻み		
男子 棒高跳	任意の 高さ	4m90	5m10	5m20	5m30	5m40	以降10cm刻み		
女子 棒高跳	任意の 高さ	3m50	3m70	3m90	4m00	4m10	以降10cm刻み		

\*棒高跳の第1位決定のバーの上げ下げは5cmとする。

④やり・ハンマーの検査は競技開始時刻の2時間前から1時間前まで、競技場正面のエントランスホールで受付ける。

## 7. 表彰について

グランプリ・一般種目は3位まで表彰する。（A・B決勝がある場合はA決勝の3位まで表彰）

小学生、中学生、高校生の種目はすべて決勝3位まで表彰する（メダル）。

## 8. 個人情報の取扱い

①主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

②本大会はテレビ放送及びインターネットで動画配信を行うことがある。

③大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運

営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 9. グランプリ種目参加選手のドーピングコントロール

### ①ドーピングコントロール

本競技会は、ワールドアスレティックス アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング検査対象大会である。競技会（時）検査は大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。

競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真の付いた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピー等を持参すること。

### ②TUE申請

「禁止表国際基準」で定められている禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は治療使用特例(TUE)の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

### ④ 18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。

上記にかかわらず本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト

(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。

## 10. その他

①グランプリ種目は、スタートした競技者の衣類をフィニッシュ付近まで運搬する。

②記録の掲示は第1ゲート外側とする。